

目 次

はしがき

第 I 部 法 学

第 1 章 序 論	3
1 法学の意義	3
2 社会あるところ法あり	4
第 2 章 法の概念	6
1 法とは何か	6
2 法と他の社会規範	9
第 3 章 権利と義務	14
1 序 説	14
2 権利の概念	15
3 権利の分類	17
4 義務の概念	25
5 権利と義務の関係	26
第 4 章 財産と法	28
1 契約の成立とその種類	28
2 移転型の契約	30
3 貸借型の契約	32
4 他人の役務の利用を目的とする契約	33
5 契約によらない財産権の変動	34
6 財産権の侵害に対する保護	35
7 不当利得・不法行為に対する救済	37

8	債権の担保	37
第5章	親族と法	41
1	親族法の意義と特質	41
2	親族関係	41
3	婚姻	44
4	親子	50
5	後見, 保佐および補助	56
6	扶養	58
第6章	相続と法	60
1	相続の意義	60
2	相続人の範囲と順位	60
3	相続分	61
4	相続欠格	63
5	相続人の廃除	64
6	相続の承認と放棄	64
7	相続人の不存在	65
8	遺留分	66
9	遺言	67
第7章	企業と法	70
1	序論	70
2	会社の経済的機能	70
3	会社の概念	71
4	会社の能力	73
5	会社の種類・分類	75
6	株式会社の特質	79
7	株式	80
8	会社の機関	85

第8章	労働と法	92
1	労働法の意義	92
2	個別的労働関係法	93
3	集合的労使関係法	114
4	個別的労使紛争の解決手続	117
第9章	税金と法	118
1	租税の意義と機能	118
2	租税民主主義と租税の基本原則	119
3	租税の分類	122
4	国家財政とプライマリーバランス	123
5	今後の展望と課題	127
第10章	犯罪と法	129
1	罪刑法定主義	129
2	犯 罪	130
3	刑罰の種類	132
4	刑罰の本質, 目的	134

第II部 日本国憲法

第11章	日本国憲法	139
1	憲法の意義	139
2	天 皇	140
3	戦争の放棄	141
4	人権総論	143
5	人権各論	146
6	参 政 権	157
7	国 会	159

8 内閣	164
9 裁判所	168
10 地方自治	171

参考文献	173
索引	177